

平成 30 年

郡山市教育委員会

2 月定例会議事録

## 平成 30 年 郡山市教育委員会 2 月定例会議事録

日 時	平成 30 年 2 月 20 日 (火) 午後 1 時 30 分	
場 所	郡山市教育委員会室 (郡山市役所本庁舎 5 階)	
出席委員	委 員 長 阿 部 亜 巳	委 員 長 阿 部 晃 造 職務代理者
	委 員 今 泉 玲 子	委 員 藤 田 浩 志
	委 員 田 中 里 香	教 育 長 小 野 義 明
出席者	教育総務部長 学校教育部長 教育総務部次長兼総務課長 学校教育部次長 ((併) こども部次長) こども部次長 ((併) 学校教育部次長) 生涯学習課長 中央公民館長兼勤労青少年ホーム館長 中央図書館長 教育総務部参事兼美術館長 学校管理課長 学校教育推進課長 教育研修センター所長 総合教育支援センター所長 教育総務部総務課長補佐 学校管理課長補佐 総務課主任主査兼総務管理係長	齋 藤 芳 一 柳 沼 文 俊 佐 藤 宏 鈴 木 弘 幸 伊 藤 綾 子 鈴 木 裕 一 橋 本 則 子 佐 藤 宏 之 佐 治 ゆかり 小 山 健 幸 早 崎 保 夫 村 上 文 生 大和田 正 恵 井 上 高 志 小 野 貴 裕 古 川 誠
	書 記	濱 津 慎 一

## 会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長の報告
- 4 議 事  
議案第4号 郡山市立美術館条例の一部改正について
- 5 そ の 他
  - (1) 小学校の休校について
  - (2) 平成29年度郡山市児童生徒の体力・運動能力調査結果について
  - (3) 平成29年度福島県学力調査における郡山市の結果について
- 6 各課報告
- 7 閉 会

委 員 長 只今から、郡山市教育委員会平成30年2月定例会を開会いたします。  
はじめに、平成30年1月定例会議事録の承認についてですが、委員の皆様、御意見等ございますか。

(なし。)

委 員 長 それでは、平成30年1月定例会の議事録を承認といたします。  
次に「3教育長の報告」をお願いします。

教 育 長 それでは報告させていただきます。今回は3件報告いたします。  
まず1件目は、「平成30年度政府予算(案)決定に伴う文部科学省に対する要望活動について」です。1月26日(金)に教育総務部、学校教育部の担当者6名と文部科学省を訪問し、各種要望活動を行ってまいりました。はじめに、文教施設企画部の山下部長を表敬訪問し、学校施設環境改善交付金事業における、本市の計画に係る財源確保の見通しについて説明を受けてまいりました。こちらでは長寿命化改良事業、トイレ改修等大規模改造事業について説明申し上げたところ、国の平成29年度の補正予算で対応できる部分もあるということで、補正予算の執行内容等について説明を受けてまいりました。次に、初等中等教育局財務課を訪問し、教職員の人的加配措置について本市の状況を説明し、一人でも多くの教職員加配が実現できるよう要望をしてまいりました。最後に、初等中等教育局国際教育課

の小幡課長を表敬訪問してまいりました。小幡課長には昨年 11 月の小中学校長会議において、「英語教育改革の動向について」という演題で講演をいただきましたので、その御礼をしてまいりました。

2 件目は 2 月 6 日（火）に東京都千代田区の都市センターホテルにおいて行われました「郡山市フロンティア大使懇談会について」です。懇談会には、本市のフロンティア大使を務めていらっしゃる 13 名の方々と、市長、吉崎副市長、私が参加いたしました。懇談の内容につきましては、まず吉崎副市長から本市の各種施策について説明申し上げ、その後、フロンティア大使の方々からご自身の活動や、今後の郡山のあり方等について様々な視点から御意見をいただきました。

3 件目は「学校等訪問について」です。1 月 24 日（水）に郡山ザベリオ学園幼稚園、1 月 31 日（水）に富田西小学校を訪問してまいりました。郡山ザベリオ学園では、小学校 4 年生の児童と郡山ザベリオ幼稚園の年中組の園児との交流活動を参観してまいりました。この交流活動は年間を通して行われており、この日は今年度最後の交流日ということで、小学生と幼稚園児たちが、お互いにメッセージを交換して感謝を伝え合うという活動が行われておりました。また、富田西小学校では、同校を訪れた希望ヶ丘こども園年中組の園児と、2 年生の児童との交流活動の様子を参観してまいりました。今回の活動では、まず 2 年生の児童が紙コップを使って工作をし、出来上がった作品を使って幼稚園児たちと一緒に遊ぶというものでした。いずれの学校においても、子どもたちが生き生きと元気に活動をしておりました。なお、交流活動参観後には、先生方による話し合いの場が設けられ、幼稚園・保育所と小学校のスムーズな接続などについて話し合いが持たれました。

以上でございます。

委員 長            それでは「4 議事」に入ります。

本定例会には議案第 4 号「郡山市立美術館条例の一部改正について」が提出されておりますが、当該議案は郡山市議会平成 30 年 3 月定例会に提出される案件のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 13 条第 6 項」の規定に基づき、会議を非公開とすべきと考えますので、委員の皆様にお諮りします。非公開に賛成の委員は挙手をお願いします。

（全員が挙手。）

委員 長            出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決しましたので、この審議を非公開

といたします。また、当該議案については長時間に及ぶことが予想されますので、「6各課報告」終了後に審議を行いたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」の声。)

委員長 異議なしと認め、そのように審議の順序を変更いたします。  
それでは先に「5その他」に入ります。(1)「小学校の休校について」事務局から説明をお願いします。

学校管理課長 それでは、「小学校の休校について」説明させていただきます。  
平成30年度に入学予定者がいない2つの学校につきまして、休校としたいと考えております。まず、休校とする学校について御説明します。1校目は郡山市立御館小学校下枝分校でございます。当該校は、平成29年度から休校となっております。平成30年度の入学予定者は7名おりますが、全ての入学予定者が他校へ入学予定であるため休校とするものです。なお、7名の就学予定先については、御館小学校への入学予定者が5名、福島県立あぶくま支援学校への入学予定者が2名となっております。続いて、2校目は郡山市立上伊豆島小学校でございます。当該校は、平成28年度から休校となっており、平成29年度も在籍児童はおりませんでした。平成30年度におきましては入学予定者が1名おりますが、他校へ入学予定であるため休校とするものです。1名の就学予定先については、郡山市立喜久田小学校へ入学する予定となっております。  
各校の休校期間ですが、平成30年4月1日から平成31年3月31日までとなっております。  
以上でございます。

委員長 ありがとうございます。  
委員の皆様、質問等ございますか。

(質問なし。)

委員長 それではこの案件を承認いたします。  
次に、(2)「平成29年度郡山市児童生徒の体力・運動能力調査結果について」事務局から説明をお願いします。

それでは、「平成 29 年度郡山市児童生徒の体力・運動能力調査結果について」説明いたします。

まず、子どもたちの体力・運動能力の調査についてですが、全国調査は、平成 25 年度から小学校 5 年生と中学校 2 年生を対象に、悉皆調査として実施しておりますが、郡山市では震災後の平成 24 年度より、小学校 1 年生から中学校 3 年生までの全児童生徒を対象に、悉皆調査として調査を実施してまいりました。悉皆調査となる以前は、国では抽出校を中心に、郡山市では各学校の保護者の方に費用を負担をさせていただいて、小学校 5 年生以上の学年で調査を実施しておりました。

まず、資料 1 についてですが、こちらの表には小学校 5 年生男女、中学校 2 年生男女の調査結果と調査種目が書いてあり、各学年の男女の欄には、今年度の全国、本県、本市の平均と昨年度の本市平均の数値が書かれています。平成 29 年度の本市平均の欄に赤字の数値がありますが、これは、昨年度の本市平均よりも結果が向上していることを表しております。小学校 5 年生男子と中学校 2 年生女子においては、全ての項目で昨年度の本市平均を上回る結果となりました。小学校 5 年生男子においては、8 種目中 6 種目で、小学校 5 年生女子においては、8 種目中 3 種目で全国や県の平均を上回る結果となりました。また、中学校 2 年生男子においては、8 種目中半分の 4 種目で、中学校 2 年生女子においては、8 種目中 6 種目で全国や県の平均を上回る結果となりました。しかし、各種目の中では、全国や県の結果を下回っているものも、それぞれの学年で 2 種類から 5 種類ほどございます。

次に、資料 2 をご覧ください。こちらには本市児童生徒の体力合計点の比較を掲載してあります。本市における今年度の体力合計点は、いずれの学年の男女とも全て全国の平均を下回っております。しかし、本市の結果において平成 24 年度からのデータを比較しますと、平成 24 年度はどの学年も全国、県との差が大きかったのですが、年度を追うごとに少しずつその差が縮まってきており、かなり児童生徒の体力が回復されてきつつあると捉えられるのではないかと考えております。

続きまして、資料 3 をご覧ください。こちらには、平成 29 年度 6 年生（平成 24 年度入学生）の各種目の結果の推移について、入学時から 1 年ごとの測定結果を掲載しております。赤く染まっている欄は、震災前の当時の 6 年生の平均でございます。これらと比較してみますと、まず男子の 20 メートルシャトルランと 50 メートル走については震災前の 6 年生に比べて数値が上回っております。この 2 種目以外では震災前の 6 年生の結果をやや下回ってはおりますが、震災以降、少しずつ子どもたちの体力が回復され

てきていることを表すデータとなっております。また、女子においては4種目で震災前を上回る結果となりました。これまで各学校に配置した器具等を活用していただきながら、子どもたちの体力の向上を図ってきた成果が表れているものと感じます。

体力・運動能力調査結果の課題とその対策についてですが、各学年ともまだまだ全国の数値を上回るところまでは行っておりませんので、課題はたくさんあるかと思われます。ただ、震災以降、改善が見られる傾向にもありますことから、今後におきましては、学校体育指導委員会で作成したリーフレットの配布や、体育主任研修会、成果が上がっている学校の取組事例紹介等により、各学校においてそれぞれの課題を解決していきながら、引き続き子どもたちの体力向上に努めてまいりたいと考えております。

また、教育委員会としましては、これまで各学校に運動器具を配置したり、水泳、ダンス等の専門講師の派遣校数を10校から20校へ拡大したりといった取組みを実施してまいりましたので、今後も教員の指導力向上はもとより、小中学校の体育授業の充実と、子どもたちの体力・運動能力向上にさらに努めていきたいと考えております。

続きまして、児童生徒の発育状態について御説明します。資料4には、小学校1年生から中学校3年生までの全小中学校の児童生徒の、年齢別身長、年齢別体重の平均及び年齢別肥満傾向児の割合について結果を掲載しております。表には各学年の男女別に、本市、全国及び県の平成29年度の平均、本市と全国の差、本市と県の差が記載されております。

まず年齢別身長の平均についてですが、全国や県と比較しますと、小中学生ともほとんど有意差はなく同程度の数値となっております。体重については、小中学生ともわずかではありますが、ほとんどの学年において昨年度の結果より減っている状況であります。また、年齢別肥満傾向児の割合についてですが、ここでいう肥満傾向児とは、計算式により算出した値が20パーセントを超えた児童生徒を指しております。本市の平成29年度と平成28年度の割合を比較しますと、ほとんどの学年で昨年度の割合を下回っており、割合の減少は特に小学校5年生で顕著となっております。平成29年度の本市と全国の結果を比較しますと、全ての学年で全国よりも割合が高くなっておりますが、県の平成29年度の結果との比較では、ほとんどの学年で県の割合を下回っているということで、少しずつですが、肥満傾向児の割合が減っているという状況でございます。

今後の課題と対策としましては、まだまだ全国と比べると肥満傾向児の割合が高い傾向にありますので、体育主任研修会や子どものケアプロジェクトと連携し、現状をしっかりと認識していくとともに各学校において健康

教育の充実を図ってまいりたいと考えております。また、各家庭の御協力をいただかなければこの割合もなかなか下がっていきませんので、保健だよりや給食だより等により、家庭との連携を重視した取組みを実施してまいりたいと考えております。また、食育指導について、教育委員会でも栄養教諭の派遣事業を積極的に実施し、栄養教諭がない学校に栄養教諭を積極的に派遣するなど、食育を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

委員長 委員の皆様、質問等はございますか。

阿部職務代理者 20メートルシャトルランとはどのようなものですか。

学校管理課長 音楽が鳴っている間に20メートルを走るという種目で、20メートルの幅を走ると1回、戻ってくると2回とカウントされます。その音楽のスピードが回を重ねるごとにどんどん速くなっていき、それを何回か繰り返して、音楽が流れている時間内に走りきれなくなった段階で、何回往復できたかを数えるといったものです。

委員長 体力・運動能力調査結果、肥満傾向児の割合については、全国と比較してしまうとやはりまだ結果が良くない部分がありますが、本市としてはどちらについても改善傾向にあるという認識でよろしいでしょうか。

学校管理課長 各学校で危機感を持って、様々な取組みを実施していただいておりますので、改善傾向にあると私たちも捉えております。

阿部職務代理者 市内の各学校において、例えば市街地の学校と郊外の学校で、結果に差があるといったようなことはあるのでしょうか。

学校管理課長 データを全て比較したわけではないのですが、市街地の学校の数値が悪くて、郊外の学校が良いというような差は特にはございません。学校によってはお昼に全校生で走る時間を設けたり、楽しみながら20周走ろうという活動を行ったりといった取組みをしているところもあり、そういった学校については数値が良くなっている傾向がございます。

藤田委員 肥満についてのデータはあるのですが、痩せ過ぎの子どもの割合といったようなデータはないのでしょうか。肥満も確かに大事ですが、痩せ過

ども健康にかなり影響すると考えられます。

学校管理課長 痩せ過ぎの子どもたちについては特にデータはございません。各学校は、そういったデータも持っていると思いますので、肥満傾向と併せて痩せの傾向についても、集計を出していきたいと思います。

藤田委員 肥満にしろ痩せ過ぎにしろ、極端に振れ幅が大きくなっている子どもについては、その原因が何かを明らかにすることで、身長以外の原因があるとなれば、何か心労がある可能性もある、といったようなことも分かるかもしれないので、注意して見ていただければと思います。

委員長 委員の皆様、ほかに質問はございますか。  
それではこの案件を承認いたします。  
続きまして（３）「平成 29 年度福島県学力調査における郡山市の結果について」事務局から説明をお願いします。

学校教育推進課長 それでは、「平成 29 年度福島県学力調査における郡山市の結果について」御説明します。

まず、本調査の概要についてであります。本調査は学習指導上の課題及び学習指導の改善点を明らかにするために、全県的な規模で小学校 5 年生及び中学校 2 年生全員について調査を行っております。実施日程は平成 29 年 11 月 6 日（月）から 11 月 10 日（金）に渡って行われました。

調査結果と改善策についてですが、まず結果概要について御説明します。結果における語句の定義としまして、県の結果と比べて差が±1 ポイントの場合は「同程度」という表記を使っております。差が±1 ポイントから 2 ポイントの間の場合は「やや上回っている」「やや下回っている」という表記になり、差に 2 ポイント以上開きがある場合は「上回っている」「下回っている」という表記になります。

さて、本市の結果についてですが、小学校 5 年生の国語については県の正答率と同程度であり、算数、理科については、県の正答率をやや下回っているという結果となりました。一方中学校 2 年生においては、国語、理科、英語で県の正答率をやや上回っており、数学では県の正答率と同程度という結果となりました。数字だけ見ていきますと、小学校 5 年生では県の正答率を全教科下回っており、中学校 2 年生では、全教科で県の正答率を上回っているということになります。

本県では市町村別成績の公表はしておりませんが、県中地区、県北地区

といったような生活圏ごとの正答率が公表されました。本市は県中地区に入るのですが、県中地区の児童生徒数のうち、本市の児童生徒数は約 61 から 63 パーセントを占めておりますので、本市の成績が県中地区の成績を大きく左右していると言えます。生活圏ごとの結果では、今回中学校 2 年生における県中地区の成績が、全ての教科において県内でトップとなりました。本市が牽引したというのは少し言いすぎかもしれませんが、大きく影響したと考えられます。ただ、今回トップになった中学校 2 年生も、小学校 5 年生のときには、その結果はそれほど良くはありませんでした。しかし、小学校 5 年生から小学校 6 年生、小学校 6 年生から中学校 2 年生となっていくにつれて徐々に成績が上がり、今回県中地区が全教科において県内で 1 番になったということで、本市で行っている小中一貫教育や小中連携教育の効果が表れているものと考えられます。特に学力向上については、年 2 回行っている学力向上全体会議において、中学校区ごとに小学校と中学校で課題を共有することによって、9 年間を見通して弱点補強に努めてきたことが今回の結果にも大いに寄与しているものと思われるので、今後も小中一貫、連携教育については努力を継続していきたいと考えております。

しかし、問題が全くないというわけではありませんので、各学校には全教科全ての問題の正答率について、どの問題が本市では正答率が低かったのか等が分かるように、正答率の高い順に結果を整理した資料を送付しております。各学校では、自校と資料の結果を比較して自分の学校の小学校 5 年生、中学校 2 年生のどこが弱点なのかをしっかりと把握し、それを基に学力向上に取り組んでいただくということになります。教育委員会としましても、学校訪問や学力向上全体会議等を通じて、今後も指導にあたってまいりたいと思っております。

以上でございます。

委員 長            委員の皆様、質問等ございますか。

委員 長            中学校 2 年生では、小学校 5 年生の頃から比べて結果に伸びが見られて良かったと思います。今回の小学校 5 年生の結果は少し低かったのかなという印象がありますので、ここから原因を分析して、結果を伸ばしていくというような傾向も見られるとさらに良いのではないかと思います。

学校教育推進課長            結果の伸びを今後も継続しながら、小学 5 年生も中学 2 年生もさらに結果を上げていけるよう指導をしてまいりたいと思います。

委員 長 委員の皆様、ほかに質問等がございますか。  
 それではこの案件を承認いたします。  
 続きまして、「6各課報告」にまいります。

(各所属、下表案件について報告。)

No	所属名	件名
1	中央公民館	・のびのび子育て広場について
		・市民学校「思春期のわが子を知る」について
		・市民学校「笑いヨガと骨盤体操」について
		・四季の風コンサートについて
		・郡山市立公民館運営審議会委員の選考基準
2	美術館	・アートカフェⅡについて
		・アートカフェⅢについて
		・スペシャル・アートカフェ
		・科学×美術：ワークショップ
3	学校管理課	・平成 29 年度郡山市小・中学校優秀選手のつどいについて
4	教育研修センター	・平成 29 年度郡山市公立学校教職員研究物展について
		・1 月研修講座等の実施状況
5	総合教育支援センター	・幼・保・小連携推進事業 第 3 回幼保小相互参観
		・平成 29 年度 月別不登校児童生徒数の状況

委員 長 それでは議事に戻ります。  
 議案第 4 号の審議は、非公開で行います。郡山市教育委員会の職員以外の傍聴人の方は退室をお願いします。

(議案第 4 号を非公開で審議し、原案の通り承認する。)

委員 長 その他、事務局から何かございますか。

(なし。)

委員 長 以上で、郡山市教育委員会平成 30 年 2 月定例会を閉会いたします。

終了時刻 午後 3 時 05 分